

外国籍の子どもたちの「学ぶ権利」を保障する可児市の取り組み

JCP - つわぶきサポーターズの DVD 視聴会。9月に観た DVD は「すべての子どもに学ぶ場を～ある中学校と外国人生徒の歳月」でした。

昨年、国の調査で、学校に在籍していない外国籍の不就学児童生徒が全国に約2万人いることが明らかになりました。外国人の子どもは義務教育の対象外です。対応は自治体に任されています。



岐阜県可児市では、外国人の子どもを一人も取り残さず学校につながとめる独自の取り組みを続けてきました。可児市の不就学ゼロはどのように実現したのかを追う番組でした。

人口の8%を占める外国人

岐阜県下最大の工業団地を有する可児市は、90年代から外国人就労者を積極的に受け入れてきました。人口の8%を外国人が占めています。工業団地に隣接する市立蘇南中学校では、全校生徒900人のうち150人が外国人です。

不就学ゼロを目指す取り組み

日本と違う文化で育った外国人の子どもたちが、言葉も習慣も違う日本の生活・日本の学校になじむのは簡単なことではありません。

来日した子どもたちは、最初に「ばら教室」に通います。費用は無料、日本に早くなじめるように、日本語や日本の習慣・学校のルールなどを3か月かけて学びます。

「ばら教室」を修了すると、地元の小学校・中学校の普通学級に通うようになりますが、サポートは続きます。その中心が「国際教室」です。入学から2年間、少人数での個別指導のカリキュラムが用意されます。

母国ならそれなりにできていたのに、日本語がわからないために「勉強がわからない」状態になった子どもたちは、自己肯定感をなくしていきます。それを支援する仕組みを作っているのです。

年間 8,000 万円の予算投入

可児市はこの取り組みを「子どもたちの未来への投資」と位置づけ、年間8千万円の予算を投入しています。

蘇南中学校には4人の通訳が採用され、母国語を異にする様々な生徒に対応しています。登校しない生徒のもとに、通訳ボランティアが電話を掛けます。連絡の取れない生徒には、生徒指導の先生が1軒1軒出向きます。様々な立場からの手厚い支援により、蘇南中では外国人生徒の8割が高校へ進むようになりました。

誰だって本当は学びたい！

可児市がこうした仕組みを作ったのは、20年前の一人の生徒がきっかけでした。言葉がわからない、授業に出ても理解できない、おもしろくない。こうした状況に家庭的問題も重なり、非行傾向が強くなり、学校から離れて行ってしまった少年でした。離れたのに、毎日校門の前にたむろしていました。

少年を注意しようとした校長先生に、少年はこう言いました。「先生、僕に勉強教えて」と。

学校に来ない外国人の子ども、非行に走る子どもも本当は学びたい！こうした「気づき」が、可児市の取り組みを支えています。

きよみの暮らし

我が家は息子が二人、初代犬のルフィ、二代目のチャッピー、猫のミーちゃん、全員男性です。

2年前に二人目の孫が生まれ、我が家に初めて女の子が加わりました。かわいいものが大好きで、お出かけの時には自分でおもちゃのプレスレットをはめ、お気に入りの帽子をかぶります。そしてお兄ちゃんのお世話をします。2歳でも立派に「女の子だなぁ」と感じます。

今月は彼女のお誕生日。プレゼントをさんざん悩みましたが、おままとセットを買いました。喜んでくれるといいのですが♡



雪田きよみ

つわぶき便り

日本共産党吉川市議会議員
雪田 きよみ
住所：吉川市きよみ野 3-23-1
電話：983-7140
e-mail:kiyomi.snow@mbr.nifty.com
URL:kiyomiyukita.com

発熱時などに受診できる市内医療機関

埼玉県は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの両方の診療・検査に対応できる「埼玉県指定診療・検査医療機関」を、県ホームページで公表しました。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/hpsearch.html>

吉川市では、12医療機関が指定されています（12月7日現在）。医療機関によって「自院のかかりつけ患者のみを受け入れる」か、「受診・相談センターから紹介された患者や初診患者等広く受け入れる」か、受け容れる曜日・時間帯・人数も医療機関ごとに違います。



必ず事前に電話をして、予約してから受診してください。

医療機関名	電話	対象者	小児の受診
相羽医院	982-6266	自院患者のみ	○
金田整形外科	981-6755	自院患者のみ	×
土屋医院	982-2156	自院患者のみ	○
さくら医院	982-5511	広く受け入れ	○
埼玉葛クリニック	982-3211	広く受け入れ	○
メディカルコミュニティマイ	981-7171	広く受け入れ	×
大久保クリニック	982-7360	自院患者のみ	×
仁クリニック	940-0433	自院患者のみ	×
ネオポリス/ハヤシ医院	981-0510	自院患者のみ	○
はすみクリニック	984-5112	広く受け入れ	○
吉川中央総合病院	982-8311	自院患者のみ	×
吉川脳神経外科	984-3001	自院患者のみ	×

食と農のまちづくり～吉川市民ネットワーク学習会～

9月議会では岩田京子議員(市民の会・無所属)が「ゲノム編集技術応用食品の表示義務を求める意見書」を提案しました。私も賛同議員として名前を連ねさせていただきました。しかし自民党・公明党・未来会議よしかわの10名の議員の反対で否決されました。未来会議よしかわの林美希議員は、「医療、食品一緒に危険視が先行することで、進むはずだった技術の応用、活用の停滞を招き、長い目で見て国民の不利益につながりかねない」と反対討論をしました。

ゲノム食品の安全性は担保されているのでしょうか。市民ネットワーク(代表;猪野満里子さん)が主催する学習会、「食と農のまちづくり」に参加させていただきました。

生命に満ち溢れる地球を作ってきたのは「微生物」

46億年前の地球には生命もなく、土もなく、二酸化炭素に覆われていました。そんな地球を、



生命に満ち溢れる地球に変えてきたのは微生物です。微生物がいなくなったら生物は死滅してしまいます。なぜなら、生物にとって欠かせないたんぱく質の合成には窒素が必要であり、窒素を取り込むためには一定の微生物の存在が絶対に必要だからです。

JCP-つわぶきサポーターズ DVD 視聴会

コロナ禍でお金がない!病気を放置し重症化

…解決策を一緒に考えましょう

「生活苦で病院を我慢?」 広がるメディカル・ブア

1月24日(日)10時～ おあしすセミナールーム2

植物が育つのも微生物の力です。光合成によって作られる炭水化物の多くを土壌に放出し、それを受け取った微生物が窒素やミネラルを植物に与えています。植物と土壌は、微生物との共生によって成り立っているのです。

気候変動・自然災害甚大化・植物と菌類の4割が絶滅の危機に



植物の根と菌根菌糸

植物の根っこにある、細いふわふわしたものを「菌根菌糸」と呼びます。この菌の存在が、土の柔らかな塊(団粒)を作ります。団粒は養分をため込み、保水能力を高め、肥沃な土壌を作ります。

化学肥料や農薬を使用することにより、植物が土の中に炭水化物を放出しなくなってしまう。そして菌根菌糸も育たず、微生物も近寄ってきません。共生関係が壊れ、それが気候変動や洪水・干ばつ、自然災害の激甚化へとつながっていますが、その原因は農業です。

農薬をかけても枯れない 遺伝子組み換え

除草剤のグリホサート(モンサント社)が草を枯らすのは、植物がアミノ酸を作る経路を阻害するからです。それを摂取した人間への影響はどうなのでしょう。

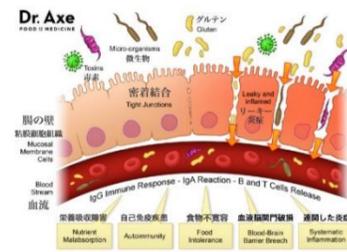
人体が必要とするアミノ酸の多くを腸内細菌が作り出しています。アミノ酸がなければ、ドーパミン・メラトニン・セロトニンは作れません。神経伝達物質が欠如し、神経の機能が保てなくなってしまう。これがうつ病やパーキンソン病などの多発につながっているのではないかと考えられています。アミノ酸がなければインスリンも作れず、それが糖尿病の多発につながっているとみられます。



虫を殺す遺伝子組み換え

虫を殺す遺伝子組み換えには「Bt毒素」が使われています。Bt毒素により、「リーキーガット(漏れやすい腸)」という

リーキーガット



状態が作り出され、十分に消化されていないものが血液の中に送られるようになります。その結果アレルギーや免疫疾患・

自閉症が増えているとも考えられています。

遺伝子組み換えの成功率はせいぜい数%とのことです。失敗した細胞を取り除くために、抗生物質耐性マーカー遺伝子を使い、失敗した細胞を死滅させています。その結果、抗生物質が効かない「抗生物質耐性菌」が増えており、またそれによる死者も増えています。

遺伝子組み換え食品の現状

遺伝子組み換えで栽培されている作物は大豆・トウモロコシだけで全体の8割、コットンと菜種を合わせると99%を占めています。実施している国も、アメリカ・ブラジル・アルゼンチン・インド・カナダで90%を占めています。大豆・トウモロコシ・菜種に気を付け、どこの国で栽培されたものかを見れば、こうした危険な食品の摂取はかなり免れることができます。

世界に広がる 遺伝子組み換え拒否の動き

赤ちゃんの粉ミルク、発泡酒の糖質や全粒粉のパンも国産以外は遺伝子組み換えが使われています。

世界では遺伝子組み換え食品を拒否する動きが広がっています。しかし日本ではこうした食品の危険性が取り上げられる機会が少なく、遺伝子組み換え食品にあまり敏感ではない日本は、「遺伝子組み換えのごみ捨て場」になる可能性があります。

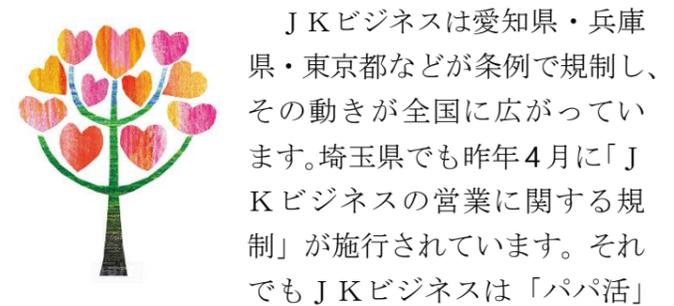
それを回避するためには消費者教育がとても重要です。「ゲノム編集技術応用食品」を表示し、消費者の関心を喚起することは、非常に重要です。

JKビジネス!? JKリフレ!? STOP!子どもへの性暴力

12月6日付朝日新聞に、「JKビジネス『人助け』という大人(子どもへの性暴力第3部 消費する社会)が掲載されていました。

「JKリフレ」との名称で、18歳未満の少女たち(中には中学生も)にデリバリーヘルス(派遣型風俗店)で働かせていた大人たち・客たちが逮捕されました。全国に「JK」や少女による接客を売りにするサービスが存在します。あるお店の「個室で少女と会話」の料金は1時間1万円。「性的サービスは一切ない」と言いながら、実は裏のオプションがあります。

店員のマッチングにより、見知らぬ男女と一緒に飲食を楽しむサービスでは、女性の飲食代を男性が支払い、少女は男性たちと性的関係を持ち、お小遣いをもらいます。どれも「買春」です。



JKビジネスは愛知県・兵庫県・東京都などが条例で規制し、その動きが全国に広がっています。埼玉県でも昨年4月に「JKビジネスの営業に関する規制」が施行されています。それでもJKビジネスは「パパ活」

など、より見えにくい形に変わっていています。JKビジネスは米商務省「人身取引報告書」でもその横行がたびたび批判されています。「性を売る女の子の問題」ととらえられがちですが、子どもの性を商品にしようとする大人、そしてそれを買う大人の問題ではないでしょうか。

そしてその行為は、子どもへの性暴力であり、絶対に許されないものだと思います。



生活相談

いつでも、どんなことでも、気軽に電話ください。

983-7140